

関島建志 (SEKIJIMA, Kenji)

上級研究員

1968 長野県生まれ

1991 東京農工大学農学部農業工学科卒業

同 農林水産省採用

農村振興局、中国四国農政局、北海道開発局、
JICA 専門家、地域資源循環技術センターを経て

2016 水利工学研究領域 沿岸域水理ユニット



研究者の横顔

＜自己紹介＞

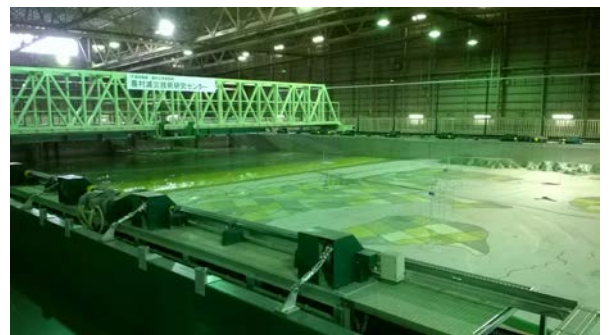
今年の4月から農村工学部門に勤務しております。これまでは、農林水産省や出先機関、海外(カンボジア)等で農業用水事業や農業集落排水事業などに携わってきました。研究者としては新人ですが、これまでの経験も活かして研究活動に尽力していきたいと思っています。



カンボジア アンコールワットにて

＜農村工学部門での研究活動＞

沿岸域水理ユニットに所属し、沿岸部等低平農地における排水対策について研究しております。これまで排水事業に携わる機会はほとんどなかったのですが、現地調査で地元の方から先人たちの壮絶な水との闘いの歴史や現在も高い使命感をもって排水機場等を管理されている方々のお話をお聞きし、私の研究対象としている排水対策の重要性を改めて感じております。現在は、海岸堤防を溢水した水の排水路による減勢効果を実験と解析により明らかにしようとしております。今後、地域排水を担う排水機場や樋門についても対象として広げ、2015年から稼働している平面水理模型実験施設での実験や数値解析を行い、浸水災害に対する解析モデルを開発する予定です。東日本大震災による津波被害や近年各地で発生している豪雨災害にみられるように、今までの想定を超える自然現象による災害が続発しております。研究を通じて、これからの防災・減災対策の一助となれればと思います。



平面水理模型実験施設

＜ベランダ農園＞

出身は自然豊かな長野県の田舎町です。都会に暮らしていると自然を身近に感じるのが少なく、家のベランダでバジルやミニトマトなど様々な作物を植えて楽しんでおります。プランタの中のわずかな自然ですが、植物は無機質な窓からの景色に潤いを与えてくれますし、ささやかではありますが収穫し味わう楽しみもあります。最近は、東京都内でもゴーヤの収穫ができ、これも温暖化の影響かと心配しているところです。